

事業計画書

社会福祉法人浦河愛生会が平成22年3月に設立し、同年4月に浦河町から移譲を受け、運営を始めて10年目に達した養護老人ホームちのみの郷、また、平成27年4月に同じく浦河町から移譲を受け、運営を始めた特別養護老人ホームちのみの杜が5年目に達し、それぞれが節目を迎えたところですが、昨今の厳しい運営を虐げられている老人福祉事業あるいは介護保険事業は、令和2年度においても支出面において燃料、食材費その他諸物価の上昇に加え、設備の老朽化に係る費用の増加、更には職員確保に要する費用など、運営面において一段と厳しさが増してくると思われまます。

特別養護老人ホームにおいての入所者の入院等による収入の減少等への運営資金不足の対応をとりながら、また、地域性や現場での人材不足など依然と課題も残されておりますが、介護職員処遇改善加算を活用し職員への待遇改善・体制の拡充などに考慮し、特養・養護間の十分な連携をとりながら健全な運営を図ってまいります。

職員研修等は、人員不足による難しさもありますが、極力、職員の資質向上のための参加を、していきたいと考えております。

行事などの事業については、利用者様の高齢化や加齢に伴う体力の衰えなどを考慮した対応を行い、また、職員の体制に準じた見直しを行いながら例年、役員、家族様またはボランティアの協力を得ながら、ほぼ計画のとおりを実施してまいります。

本年度においても経営理念や基本方針を念頭にご利用者様へのサービス体制を維持しながら、前年度の事業等の反省・見直しを行いながら経費節減に努めてまいります。

1 事業計画

法人は、次の事項等によって事業を推進していきます。

(1) 運営する事業及び運営方針

ア、養護老人ホームの運営

① 養護老人ホームちのみの郷

老人福祉法及び法人の掲げた理念に基づき、またはそれに添った運営を行い、利用者様が健康で明るく生きがいのある生活ができるよう努めます。

② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業

身体介護又は生活援助のサービスが必要になった利用者様の意向を尊重したサービス計画を立て、それに基づき、日常生活における必要な介護を行ないます。

③ 施設内照明のLEDへの切替

前年度続き、蛍光灯等の照明を使用している廊下などを、使用頻度が高い区域を優先に費用対効果を見極めながら順次LEDに切り替えを進め、電気料金等の経費の軽減を図ります。

イ、特別養護老人ホームの運営

① 特別養護老人ホームちのみの杜

施設利用者様に対し、介護保険法の精神にのっとり人格や意思を尊重し、利用者様の立場に立ったサービスの提供を行い、施設における生活が十分に満足していただけるよう努めてまいります。

② ちのみの杜短期入所生活介護事業

要介護状態になった利用者様に対し、可能な限りその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な身体介護や生活援助等を行い、利用者様の心身機能の維持並びに家族の身体的及び精神的負担の軽減が図れるよう努めるとともに、関係各機関との連携を図り、稼働率の向上を図ります。

③ 事業の運営は、引続き大変厳しい環境にあります。浦河町より経営を引継いだ経緯を踏まえ、施設の運営支援に向けた協議を担当部署と継続してまいります。

④ 老朽化したナースコールを最新で利便性の高い設備に、外部補助を得て更新するため、外部補助が得られるよう努めてまいります。

(2) 施設等の入所・利用定員

ア、養護老人ホーム

- ① 養護老人ホームちのみの郷 75名 ショートステイ 2名
 ② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業所 34名

イ、特別養護老人ホーム

- ① 特別養護老人ホームちのみの杜 50名
 ② ちのみの杜短期入所生活介護事業所 8名

(3) 施設等の職員の職種・職名及び数

	養護老人ホーム				特別養護老人ホーム				合 計			
	常勤		非常勤	計	常勤		非常勤	計	常勤		非常勤	計
	正 規	嘱 託			正 規	嘱 託			正 規	嘱 託		
施設長		1		1		1		1		2		2
事務長		1		1		1		1		2		2
事務員		1		1		1		1		2		2
生活相談員	3			3	1			1	4			4
介護支援専門員	1			1	1			1	2			2
栄養士	1			1	1			1	2			2
看護職員	2		1	3	1	3		4	6		1	7
看護助手			1	1							1	1

介護・支援員	9	5	12		26	10	5	5		20	19	10	17		46
介助員			4		4		1			1		1	4		5
調理員		5	1		6		5			5		10	1		11
用務員		1			1		1			1		2			2
計	16	14	19		49	14	18	5		37	30	32	24		86

※数は、4月1日の職員数となります。

(4) 利用者様の生活相談・支援

- ① 利用者様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者様又は家族に対し、適切な相談、助言を行うとともに、必要な支援を今後も行っていきます。
- ② 養護老人ホームにおいては、利用者様がお互いにいたわり合い、他人に迷惑をかけるなど、思いやりのある人間関係で楽しく充実した生活ができるよう支援します。
また、特別養護老人ホームでは、利用者様がお互いに尊重しあい、毎日が元気で明るく生活できる環境作りに誠意を持って努めます。
- ③ 「自分で出来ることは自分でする。」を生活の基本に、利用者様の適正に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和をはかりながら生きがいを支援します。

(5) 健康管理

- ① 養護老人ホームは健康維持の増進として毎朝のラジオ体操、その後の軽い歩行訓練の実施、更にリハビリ体操の継続をしていきます。
特別養護老人ホームにおいても、健康維持の増進として毎朝のラジオ体操、更にリハビリ体操の継続をしていきます。
- ② 週一回の日赤病院医師による往診、毎月の血圧・体重測定、養護老人ホームにおいては年二回の健康診断の実施を行い、利用者様の健康管理を図っていきます。
- ③ うがい・手洗いの励行、毎日の施設内の換気・消毒の実施、インフルエンザの予防接種、更に入浴・洗濯・清掃など衛生面などに配慮した援助を行い、感染症等の予防に努めていきます。

(6) 施設等の行事

- ① 一大行事等（家族へ出欠の周知）
 - ・観桜会（5月） 家族会総会の後に行います。
 - ・夏まつり（7月） 午後縁日、夕刻ビヤガーデン、近隣2自治会に案内します
※特別養護老人ホームは8月に行い、縁日のみです
 - ・敬老会（9月） 式典・祝賀会
100歳記念品 法人、家族会
白寿記念品 法人

米寿記念品 浦河町

喜寿記念品 浦河町

※ その他、新年会なども計画されています。

② 季節に応じた行事

- ・バスハイク（桜、紅葉見学）
- ・盆、彼岸供養会（年3回）
- ・かき氷の会
- ・焼きいもの会
- ・豆まき
- ・ひな祭り など

③ 定期または2ヶ月毎の行事

- ・ショッピング
- ・大相撲星とり大会
- ・ビデオ鑑賞会
- ・クラブ活動（ゲーム、手芸、カラオケなど） など

④ 毎月の行事

- ・誕生会
- ・散髪・美容室
- ・食堂清掃 など

⑤ 慰問等の行事

- ・町民吹奏楽団
- ・幼稚園
- ・老人クラブ
- ・民謡、踊りなど

⑥ 会議に関する行事

○入所者関係

- ・生活懇談会（毎月）

○施設等関係

- ・年4回
- ・全体会議（研修会）
- ・3ヶ月毎
- ・感染症対策委員会
- ・2ヶ月毎
- ・身体拘束委員会
- ・毎月
- ・施設運営会議
- ・入所者処遇会議
- ・事故発生防止対策委員会
- ・給食運営会議
- ・給食会議
- ・ケースカンファレンス

※②～⑥までは養護老人ホーム又は特別養護老人ホームそれぞれに行っているもの
行っていないものがあります。

(7) 防災計画

- ・避難訓練（火災 年2回、自然災害 年2回）
- ・組織
- ・自衛消防責任組織（点検、予防に関する業務分担）
- ・自衛消防組織（発生時の業務分担）

(8) 職員研修

職種別研修会・講習会などへ参加し、職場研修にも取り組んでいきます。

2 役員運営

(1) 役員の数

- 理事 7名
- 評議員 8名
- 監事 2名

(2) 理事会・評議員会の開催計画

- ・ 3月下旬 新年度の事業報告書及び収支予算書の審議
- ・ 6月上旬 前年度の事業報告書及び収支決算書の審議
- ・ その他 懸案事項等必要に応じて随時開催

(3) 監事監査の開催計画

- ・ 定例監査 年3回 8月、11月、2月
- ・ 決算監査 5月中旬

3 予算の執行

令和2年度の事業の運営（法人本部は除く）は、次によって行います。

・ 事業活動収支

(単位：千円)

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	467,400	7,358	244,377	2,096	223,023	5,262
介護保険収入	302,766	8,199	87,966	1,799	214,800	6,400
老人福祉事業収入	155,930	360	155,790	360	140	
その他の収入	8,704	△1,201	621	△63	8,083	△1,138
支出	487,006	16,352	244,602	929	242,404	15,423
人件費支出	334,921	18,934	163,399	3,124	171,522	15,810
事業費支出	114,662	△964	65,648	△1,062	49,014	98
事務費等支出	37,423	△1,618	15,555	△1,133	21,868	△485
収支差額	△19,606	△8,994	△225	1,167	△19,381	△10,161

・ 施設整備等収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	620	△3,918	300	300	320	△4,218
施設整備等補助金収入	620	△3,918	300	300	320	△4,218
支出	1,946	△4,413	1,254	273	692	△4,686
固定資産取得支出	1,946	△4,413	1,254	273	692	△4,686
収支差額	△1,326	495	△954	27	△372	468

・ その他の活動収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入		△20,000				△20,000
長期運営資金借入金		△20,000				△20,000
支出	5,987	△8,457	820		5,167	△8,457
長期運営資金借入金						
元金償還支出	4,587	△8,457			4,587	△8,457
積立資産支出	200		100		100	
拠点区分間繰入金支出	1,200		720		480	
収支差額	△5,987	△11,543	△820		△5,167	△11,543

※法人本部の部分は含まれていません。

・当期資金収支差額

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	△26,919	△20,042	△1,999	1,194	△24,920	△21,236

・前期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	74,652	23,515	14,977	△574	59,675	24,089

・当期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	47,733	3,473	12,978	620	34,755	2,853

以上の予算を以って執行いたします。

内訳等は、予算書のとおりとなっています。

資金収支予算書

(自)平成31年 4月 1日 (至)翌年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘定科目		本年予算額 (A)	前年予算額 (B)	差異 (A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	経常経費補助金収入	30		30	
	介護保険事業収入	302,766	294,567	8,199	
	老人福祉事業収入	155,930	155,570	360	
	経常経費寄附金収入	200	200		
	借入金利息補助金収入				
	受取利息配当金収入	11	20	△ 9	
	その他の収入	8,463	9,675	△ 1,212	
	事業活動収入 計 (1)	467,400	460,032	7,368	
	支出				
人件費支出	335,401	316,387	19,014		
事業費支出	114,662	115,626	△ 964		
事務費支出	38,318	39,290	△ 972		
支払利息支出	256	727	△ 471		
事業活動支出 計 (2)	488,637	472,030	16,607		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 21,237	△ 11,998	△ 9,239		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	620	4,538	△ 3,918	300
	施設整備等寄附金収入				
	施設整備等収入 計 (4)	620	4,538	△ 3,918	300
	支出				
	固定資産取得支出	1,946	6,359	△ 4,413	1,254
固定資産除却・廃棄支出					
ファイナンス・リース債務の返済支出					
施設整備等支出 計 (5)	1,946	6,359	△ 4,413	1,254	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,326	△ 1,821	495	△ 954	
その他の活動による収支	収入				
	長期運営資金借入金収入		20,000	△ 20,000	
	積立資産取崩収入				
	その他の活動収入 計 (7)		20,000	△ 20,000	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	4,587	13,044	△ 8,457	
積立資産支出	200	200			
その他の活動支出 計 (8)	4,787	13,244	△ 8,457		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 4,787	6,756	△ 11,543		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 27,350	△ 7,063	△ 20,287		
前期末支払資金残高 (11)	75,199	51,510	23,689		
当期末支払資金残高 (10)+(11)	47,849	44,447	3,402		